

おおい図書館

No. 65

発行
おおい図書館
代表
青木 和子
松戸市穂台 830-160
TEL 322-115004



長年、新しい中央図書館建設の

第一候補地としてきた相模台の大蔵省中央関税分析所跡地の取得を財政難のためあきらめる、という松戸市の突然の変更、そしてそれについて市民が納得できる説明といえるものは一切なかったことは、すでにお知らせした通りです。

この結果を受けて、12月議会に市民から陳情と署名簿が提出されました。「おおい図書館」としては、要望書を提出しました。

◎陳情

「中央公園脇大蔵省施設跡地を、図書館として取得するよう求める陳情」
情報公開を求める市民の会
代表 武笠 紀子

松戸において、長年、懸案であった中央図書館の建設が、総合計画の第一次五ヶ年計画において平成14年の着手と位置付けられた。その用地は、中央公園脇の大蔵省施設跡地とされ、市から国へ取得の要望が提出されていた。

しかし、9月議会において市はこの跡地の取得を断念すると表明した。そして、聖徳大学が、この土地を取得して、10階建ての校舎を建てるという。

これでは、建設着手まであと一年余りとなった今になって、唯一具体的であった用地の件が白紙に戻ってしまう。これが十分検討された具体的な図書館構想の上での用地の変更ならばともかく、単に市の財政的な理由だけでは納得できない。

この大蔵省跡地は次の点で優れている。

1. 松戸駅に近い。

少子高齢化社会、エコロジ
ー社会が進む中で、駅から楽
に歩いて行ける事は重要である。
2. 松戸駅は交通の要である。

常盤線(千代田線)・新京成線
を利用できる。バス路線も集
中している。

3. 社会環境が良い。

相模台小学校、第一中学校
、聖徳大学が隣接しており、
法務局もあり、文教地区といえる。

4. 自然環境が良い。

中央公園と、それに続く相
模台公園もあり、緑が多い。
西に、江戸川を望む台地の上
にある。

特に駅に近い事は、重要であり、
良い施設を作ったのに、交通の便
の悪さで評判が悪い森のモールの
二の舞を演じてはならない。

9月の議会では「図書館を利用
する人だけが市民ではない」と答弁
するよう図書館に対する意識の

低い市の職員が、何の根拠があ
って「図書館にふさわしい土地が他
にもある」と言い切るのか不可
解であった。

駅から歩いて行ける中央公園
脇の犬嵐斎施設跡地を、市民の誰
もが利用できる図書館建設用地とし
て確保するよう求めて陳情する。」



12月14日、市議会総務常任委
員会で右陳情が審議されました。
以下は、そのあらまし。
△委員からの質問と答弁▽

財政面だけが理由では、納得でき
ない。充分検討したのか。

○市長、助役、8本部長等で重
要課題は検討している。庁内で、
充分検討はできた。

○聖徳は、当該地に10階建ての
校舎を建てるといだが、その内容
は、わかっているのか。

○聞いた事がない。現有大学用地
の中に建てると聞いている。

○当該地の価格はどの程度か。
15〜16億円ならば、無理をして、こ
も買うべきだ。

○5ヶ年計画策定時、13億6千
万円と、試算した。

○現有地を活用するというが、
それは、どこか。

○図書館のあるべき姿にふさわ
しい場所が決まってくるはず。

(注：絶好の土地とはどこかと、
繰返し質問したが、明確な答弁は
なかった。)

○総務企画本部より

用地は断念するが、建設計画は進める。此方都市・21世紀にふさわしいものにした。い。

聖徳とは、関東財務局に通知する旨話し合った。文書をとりかわりし、

関東財務局へ送付する予定だ。

◎ 川井市長より

用地は断念するが計画は進ませる。現有地活用がベターであり、それは充分できる。用地選定は、特別検討委員会を設置して決める。複数の選定地がある。



継続審議にして、市はもっと説明するべきだという意見も出たが採決の結果、反対多数で、不採択となった。

傍聴記録 青木 和子



「相模台の大蔵省中央関税分折所跡地を中央図書館用地として市が取得する事を求める署名」

相模台に中央図書館建設を

求める市民の会

代表 片岡 久明

署名活動から見えてきた事

片岡 久明

相模台の大蔵省施設跡地を市が購入し、新図書館を建ててほしいという署名は、第一次締切り日の12月7日までに³²筆集った。短期間に予想を越す数の署名が集ったのは、市民の文化的・教育的欲求が広く強く存在している事を証明していると思える。

署名第一回集約日の数日前、署名と同じ趣旨の陳情が市民から出され、市議会の総務常任委員会が論議された(不採決。市民10名程傍聴) この常任委員会の論議と、署名提出時(12月18日)に市の幹部職員と若干議論した結果からみると私達の要望の実現と、市長や保守系議員のやめている事、やろうとしている事とはまったく言い違い程相反している事が判明した。署名の第二次締切りを前にこう判断するのは残念だが、松本市は、現在、数年前のハコ物作り(公共事業)の支払いや、本土寺の参道購入紙敷の区画整理組合の放漫経営の尻ぬぐい等々に追われていて、私達一般市民の要望に心えるつもりは一切ないように思える。



「おい図書館」としては、左の要望書市長助役担当部署、市議会議員各位宛に届けました。

松戸市の新しい図書館建設についての要望

様には、日頃より、松戸市民のため、不断の努力を頂き、ありがとうございます。

さて、松戸市長期総合計画の第1次実施計画において、市立中央図書館建設が明確に示されましたが、その期間も半ばと取りました。先の9月議会においても、図書館建設計画は、後退させることなく進める、との明言を頂き、私たち市民の期待は、益々、ふくらんでおります。

情報化時代といわれる今、図書館は、あらゆる情報や文化の拠点という機能を果たして行くだけでなく、その地域のすべての年齢から幼児まで、広い層の市民が、文化的に、より豊かな生活をおむための、生涯学習の場、交流の場、そして憩いの場として、不可欠な公共施設となっております。

松戸市において、此の後、新しい中央図書館を建設するにあたり、是非とも、上記のより条件を備え、新しい時代に対応した図書館となるよう、切に願っております。

私も、1993年1月に「おーい図書館」を築会し、図書館についての学習会、近隣の図書館見学会など、様々な活動を重ねて参りました。その体験を通して、下記より要望を、まとめました。

新しい図書館建設計画を推進するにあたり、私たち市民の図書館建設への期待と希望を、是非ともご理解下さり、要望の実現に向けて、全力添え下さいますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 十分に時間をかけて、しっかりとした基本計画を策定して下さい。(機能、規模、サービス網、職員態勢などをふまえて)
1. そのためには、図書館建設準備委員会(仮称)を設置し、調査、研究、審議を行うための、最良の方法と、考えます。
1. 上記準備委員会(仮称)には、何らかの形で、必ず、図書館づくりの専門家への参加が、不可欠と考えます。
1. また、図書館建設に、関心と期待を寄せる市民、利用者の参加を、希望致します。
1. 図書館のことを熟知し、識見に富んだ、図書館専門の建築家が、設計に当たることを、希望します。
1. 基本計画の策定と同時に、新しい図書館に相応しい、図書館長、並びに、職員態勢を整え、準備に当たって下さい。

2000年12月13日

おーい図書館

代表、青木和子

(Tel. 047-367-5384)